

目次

- ・ 学生と先輩との交流会 開催報告……林 潤、長田孝二 (pp. 2 – 4)
- ・ 関西支部京機カフェ「文楽鑑賞会」……奥田 寛 (pp. 5 – 6)
- ・ 第17回 京機会テニスカフェ報告書……成瀬忠史 (pp. 7 – 9)
- ・ 花崎先生退職記念パーティー開催報告……沖野真也、秋山真作、梅村 亮、今西雄暉 (p. 10)
- ・ 第1回 AM (3Dプリンティング) テクノシンポジウムの御案内……土井健志 (pp. 11 – 12)



学生と先輩との交流会 懇親会 (2026年6月6日)

学生と先輩との交流会 開催報告

学生会担当 林 潤 (H14/2002卒)

長田孝二 (H4/1992卒)

2026年6月6日（土）に京都リサーチパークにおいて「学生と先輩の交流会」が開催されました。

京機会学生会（SMILE）が主催するイベントとして毎年開催されており、企業や公的機関などで活躍されている卒業生と機械系の学部・大学院生との交流を深める貴重な場となっております。



2024年度には12月に行われていた本交流会は、昨年度より、夏前の6月実施に変更となり、2026年度も6月実施となりました。学生会のメンバーにとっては、準備時期が卒業論文、修士論文の作成時期とやや重複しておりましたが、昨年度の経験を活かして盛会に開催することができました。昨年と同様に交流会はリサーチパーク 1号館 4階サイエンスホール等を利用し、65の企業や公的機関から127名の卒業生を含む200名以上の方々にご参加いただきました。学生が参加する交流会の開始時刻を午後としたこと、教室における講義の中でアナウンスしていただ

いたこともあり、学部3回生を含む90名程度の学生の参加がありました。次年度以降は、学生参加者の数についても確認を行うことを検討しております。

また、機械系の多数の教員にもご参加いただき、下記のスケジュールの通り、滞りなく開催されました。前日の事前準備を含め、事務局およびSMILEメンバーの尽力によるものであり、改めて御礼申し上げます。

10:30 ～ 11:30 受付・昼食

11:40 ～ 11:55 京機会代表挨拶（平方寛之さん（H9/1997卒））

就職状況説明（西脇眞二さん（S61/1986卒））

交流会説明（SMILE代表 仁和一晟さん）

12:00 ～ 16:30 個別ブース交流会（1号館）

17:00 ～ 19:00 懇親会（1号館）

懇親会は、リサーチパーク 1号館 アトリウムにて開催されました。昨年度と同様に立食形式にて懇親会を実施いたしました。



初めにNGK株式会社の水谷彰宏さん（H10/1998卒）にご挨拶と乾杯のご発声をいただき、会がスタートしました。数年にわたって連続してご参加いただいている卒業生の先輩方も居られて、至る所で会話が弾んでいる様子が印象的でした。また、SMILEを含めた学生の参加者も先輩方との会話を楽しんで居られたように思います。

懇親会の終盤には、学生担当教員（林）からの挨拶、及びSMILEメンバーの紹介の後、SMILE 仁和さんの一本締めで閉会となりました。最後になりますが、交流会にご参加いただきました、企業・公的機関の方々、入念にご準備いただきましたSMILEのメンバー（森田未来心さん、矢田歩さん、児島はるかさん、仁和一晟さん、納谷岳都さん、鬼頭篤史さん、蓬臺厚郎さん、石川拓真さん、工藤寛也さん、松岡利明さん、森岡樂さん、脇健太郎さん）、そして京機会事務局の段智子さんに深く感謝申し上げます。

来年度もまた交流会にて皆様にお会いできますことを楽しみにしております。



関西支部京機カフェ「文楽鑑賞会」

奥田 寛 (S55/1980卒)

7月25日（土）に13名で「文楽鑑賞会」を実施しました。

毎年この時期は「夏休み特別企画」で名作を披露してくれます。

今年は前半が時代物の「源平布引滝（げんぺいぬのびきのたき）」、後半は世話物の「恋娘昔八丈（こいむすめむかしはちじょう）」

前半は源平合戦時代で、平家が優勢の頃の物語でした。参加の皆さんはストーリーもよくご存じの方が多く熱心に観劇されていましたが、同伴の家内はよく理解できず、ベテラン観劇者の方に終わってからいろいろ教えてもらっていました。

鑑賞後は近くの「故郷羊肉店」という中国吉林省の羊料理店で舌鼓！このお店はいわゆる「中華料理店」ですが、羊肉の串焼が絶品でした。

今回の「夏休み特別企画」では夜の部で「チャップリン」と「文楽」のコラボ企画で「街の灯」が上演されていました。文楽の新しい試みですね。来年も同様の企画があるようでしたら京機カフェでご案内したいと思います。





日本の3大古典芸能は「歌舞伎」「能」「文楽」といわれています。昨年は映画で「国宝」が大ヒットしました。歌舞伎役者の一生を描いた作品でした。「文楽」も「歌舞伎」も演目は似通っています。ただし文楽は人形が演ずる形のため、いわゆる「スター」になる人物は無く「人形（人形遣い）」「義太夫（語り）」「三味線」それぞれの「人間国宝級」が演じます。昨今は歌舞伎が人気を博していますが、文楽は歌舞伎に負けず劣らずの芸術作品です。文楽未経験な方でも楽しめますので興味のある方は是非一度ご参加ください。



第17回 京機会テニスカフェ報告書

成瀬忠史（S47/1972卒）

日時：令和8年6月6日（土）13時～17時30分

場所：（テニス）島津製作所三条工場内テニスコート（屋内2面）

〒604-8511 京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地

<http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/kyoto.html>

次第：PART 1 紅白対抗ダブルス戦

PART 2 決勝トーナメント・親睦試合

参加者：13名

経過：テニス愛好の皆さんに、プレーを通じた交流の機会を増やす目的で、平成28年1月からテニスカフェを立ち上げ、開催地を神戸と京都に適宜交替しながら、これまでの11年間に、コロナ禍の一時期を除いて、年2回のペースで関西出張中の方、大学研究室の方や学生さんなどすべての京機会員に加え、神戸や京都の地域のテニス仲間にも声をかけながら、実施してまいりました。これまでの参加者は、兵庫・京都・大阪在住の方を中心に80歳代から現役20歳代までの81名（男64，女17）の方々が、全17回の間に累積人数で287名となっております。

実施結果：近畿地方の梅雨入り直前の6月でしたが、室内コートを抜ける風が快適な一日となりました。京都での開催にご協力いただいている島津製作所さまに現在も勤務しておられる京機会員田中さん（S63年卒）の初参加も得た13人が定刻に集合、一人のトラブルもなく、PART 1 紅白対抗戦、PART 2 個人戦決勝トーナメント&親睦試合を無事に実施しました。元気いっぱいなプレーで楽しい交流の時間を持つことができました。次回は、11月頃の土曜日午後に神戸の会場を確保する予定であります。テニス愛好の皆さんのご参加をお待ちしています。

紅組		白組	
お名前	個人番号	お名前	個人番号
氏田 宗治(S46卒)	1	成瀬 忠史(S47卒)	①
池田 博一(S47卒)	2	北野 幸彦(S56卒)	②
大平 正直(ライブメイツ)	3	田中 雅彦(S63卒)	③
古佐小 慎也(神戸)	4	黒田 誠(西宮)	④
水谷 孝子(ライブメイツ)	5	森岡 由起子(奈良)	⑤
菱田 美穂(奈良)	6	成瀬 千鶴子(神戸)	⑥
斉藤 香織(奈良)	7		

対抗戦成績

勝数	
紅組	白組
5	9



個人戦上位者

1位：(池田)・(黒田)

2位：(森岡)・(北野)

3位：(菱田)・(成瀬)

斜体は女性、丸囲み数字は白組

戦績とスナップ

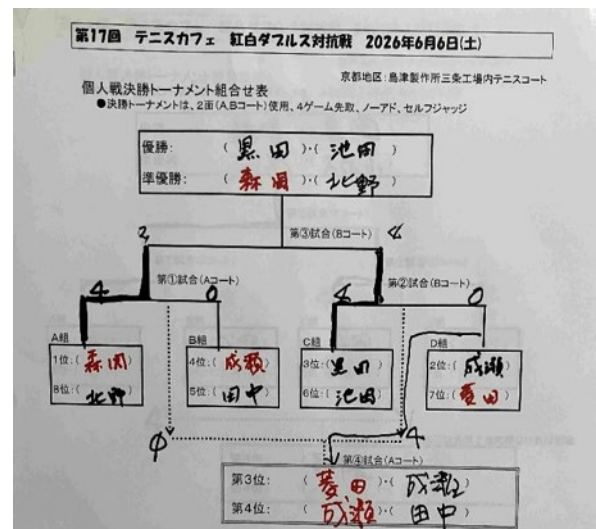
第17回 テニスカフェ 紅白ダブルス対抗戦 2026年6月6日(土)

京都地区：島津製作所三条

組み合わせ表 紅：左列、白：右列、丸囲み数字

コート	組別	選手	スコア	結果
#1	紅	氏田 宗治	2	勝
#2	白	成瀬 忠史	0	負
#3	紅	池田 博一	2	勝
#4	白	北野 幸彦	0	負
#5	紅	大平 正直	1	勝
#6	白	田中 雅彦	0	負
#7	紅	古佐小 慎也	1	勝
#8	白	黒田 誠	0	負
#9	紅	水谷 孝子	1	勝
#10	白	森岡 由起子	0	負
#11	紅	菱田 美穂	1	勝
#12	白	成瀬 千鶴子	0	負
#13	紅	斉藤 香織	1	勝
#14	白		0	負

一人3～4試合出場している選手もいます。





優勝 池田・黒田ペア



準優勝 森岡・北野ペア



以上

花崎先生退職記念パーティー開催報告

沖野真也（H18/2006卒）、秋山真作（H25/2013卒）
梅村 亮（H30/2018卒）、今西雄暉（H30/2018卒）

2026年5月9日にリーガロイヤルホテル京都にて、本年3月末をもって定年退職されました花崎秀史先生（現・名誉教授）の退職記念パーティーを開催致しました。花崎先生は京都大学着任前に東京大学および東北大学に教員として在籍されていたことから、花崎先生が研究指導をされた各大学の卒/修了者を対象に参加者を募りました。その結果、37名の方にお集まりいただきました。

パーティーにて、参加者は研究室時代の懐かしい思い出話に花を咲かせ、また花崎先生とのエピソードなども披露されました。出席者は先生への感謝の気持ちを新たにし、旧交を温めた和やかな記念パーティーとなりました。



KIRテクノシンポジウム**第1回 AM(3Dプリンティング) テクノシンポジウムの御案内 ***

日時 2026年11月10日(火) 13:00～16:50 (受付開始:12:30～)

場所 尼崎リサーチ・インキュベーションセンター(ARIG) 小ホール
〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町7丁目1番3 Tel: 06-6415-2500

趣旨

京都イノベーション・リソース(KIR)は、メンバーの経験・知識・技術等に基づく人的ネットワークを活用し、多くの連携の場を提供することにより、産学公各界の皆様と新しい価値の創造を通じて社会へ貢献することを目指しています。2016年度より「CFRP」や「水素エネルギー」、「ロボット」について、最近の動向や技術開発状況を紹介するテクノシンポジウムを開催してきました。

2025年度は新たに「カーボンニュートラル関連」を取り上げ、学术界での研究開発の動向と企業における脱炭素の取組状況を紹介しました。以上の経験を基に、今年度は近年採用例が増えている『AM(積層造形)技術』をテーマに、第一線の講師により学术界での研究開発や産業界における最近の取組状況を紹介し、本分野に関心をお持ちの企業の方々の技術力向上や実用化推進に貢献することを目的として開催します。

プログラム

時間	題目・内容	講師
13:00～13:05	開会挨拶	KIR 理事長 鴻野 雄一郎
13:05～14:05	基調講演: 「トポロジー最適化とAMの融合が拓く次世代ものづくり」 製造制約から設計者を解放するAM技術と、物理的設計要件から最適形状を導くトポロジー最適化は、相互に可能性を広げる関係にあります。両者の融合による高付加価値設計の方法論と産業展開の可能性を論じます。	京都大学大学院 工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻 教授 泉井 一浩 氏
14:05～14:55	業界講演: 「AM社会実装の現状(国内活用事例の共通点)」 日本でのAM社会実装は海外と比較すると遅れていると言われています。そのような現状と原因をお話した上で、国内活用事例の紹介と共通点を説明し、AM活用へのヒントをお話します。	一般社団法人 日本AM協会 専務理事 澤越 俊幸 氏
14:55～15:05	休憩	
15:05～15:40	技術講演: 「AMPIにおける金属AMの取り組み」 AMPI(近畿高エネルギー加工技術研究所)におけるこれまでの金属AM(Additive Manufacturing: 付加製造)に関する研究内容と、K Programでの導入機器を含めた造形・評価設備を活用した社会実装を目指した取り組み、K Program後の活動等を紹介いたします。	一般財団法人 近畿高エネルギー加工技術研究所 研究開発部 部長 竹本 誠 氏
15:40～16:10	全体質疑・ディスカッション	司会 KIR 副理事長 土井 健志
16:10～16:20	閉会(見学会前)の挨拶 (AMPIへ移動)	
16:20～17:00	見学会 : AMPI様 (1)技術支援棟; 金属3Dプリンター、X線CT、3Dスキャナー (2)研究棟; 走査型電子顕微鏡(SEM)、引張試験機など の見学	
17:50～19:30	懇親会	がんこ尼崎店 (阪神電車 尼崎駅の北口より徒歩約7分) 住所: 尼崎市神田北通2-20 Tel: 06-6412-3412

主催 特定非営利活動法人 京都イノベーション・リソース

後援 (一社)関西産業活性協議会、(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所

募集定員 50名程度(先着順)

参加費 講演会 3,000円(予稿集を含む) 懇親会 4,000円

申込み

御勤務先、御名前、連絡先等を記入し、メールでお申込下さい。
但し、同業者の方につきましては、参加をお断りする場合がありますので御了承をお願い致します。
申込書は、KIR のホームページ(<http://kir.or.jp/>) からダウンロード願います。
申込み締切りは、10月31日(土) (宛先: 申込書に記載しています)

* 短信編集委員会より：NPO 法人 京都イノベーション・リソース (KIR) 副理事長 土井健志 氏 (S45/1970 卒) が寄稿された「第1回 AM (3D プリンティング) テクノシンポジウムの御案内」については、ご本人の意向を反映させるために画像データとして掲載いたします。

会場へのアクセス； 下記の地図をご参考下さい。

JR、阪神電車が利用できます。



阪神電車 尼崎センタープール前駅、又は出屋敷駅から会場までのご案内（徒歩8分）

最寄りの駅からのアクセス



最寄り駅：阪神電車『尼崎センタープール前駅』『出屋敷駅』
どちらの駅からもおよそ徒歩8分で到着します。
地図と下記写真をご参照ください。

京都イノベーション・リソースとは；

京都大学機械系教室(京機)卒業生の有志が集まり、大学や企業などが保有するシーズとニーズのマッチングや連携の活動を通じて、新しい価値の創造と企業のオープンイノベーションや事業の発展を支援することを目的として、2011年に設立したNPO法人です。

活動範囲の拡大と共に機械系以外の分野も拡充し、多数の人材が集い、現在では京機以外のメンバーは、実活動メンバーの約3割となり、国内外の大学や企業との協働・協創を目指しています。

詳細はホームページ：<http://kir.or.jp> をご一読下さい。